



今年もおもしろい生涯学習 さらに内容充実し楽しさ満杯



昭和六十二年に、「生涯を通じた学習体制を整備するまちづくり」のモデル地域として、国から指定されスタートした生涯学習事業——村民のみなさん一人ひとりが心身ともに、はつらつと潤いのある日常生活を過ごせるように応援しようとはじまったのがこの事業です。昨年は、実践活動として三つのプログラム（おらが村岩室ふるさと講座、村おこしふるさと講座、生涯一人一スポーツ事業）を開催しました。どの学習講座も、いままでは一味ちがったユニークな事業とあって大勢の人たちから参加いただき大好評でした。そこで今年では、ことしで三年目を迎え、さらに内容アップした生涯学習事業をご紹介します。

人や地域を元気にする生涯学習

この生涯学習は、「村民一人ひとりが心身ともにはつらつと充実した日常生活を楽しみながら、二十一世紀へ向けて明るい村づくりをしよう」と昭和六十二年に指定をうけ、始まり、ことしで三年目に入りました。昨年は、この生涯学習の実践活動として三つのユニークな楽しい事業が行われ、どの事業（講座）も大好評のうちに終了しました。そんな新鮮で大盛況だった各講座、ここでちよつとふり返ってご紹介します。

ふるさとへの愛情と探究心の芽生え

はぜひ参加させてほしいですね」なんて声も多く聞かれるほど、美しく楽しいふれあい講座でした。

スポーツを通して健康とふれあいを

そして最後は、スポーツをとおして、ふれあいと交流を求める講座「村民一人一スポーツ事業」。この講座は、スポーツと健康について理解と関心を深め、それぞれの日常生活の場で進んでスポーツ活動に取り組もうと六つの学習主題を掲げ実施されました。講座内容は、スポーツと健康に関する講座をはじめ、親子水泳教室、ラジオ体操指導者講習会、だいろカーニバルなどの新しく楽しい催しが開催され、なかでも、だいろカーニバルでは五百人を超す参加者で大盛況でした。

以上が、昨年実施された生涯学習事業の様子ですが、三つのプログラム（講座）とも参加したみなさんから、「参加して



今年さらさらに楽しく面白いイベント登場

楽しかったですよ。本当に勉強になりました」と多くの人たちから大評判でした。

ことしで三年目に入る生涯学習事業。

内容も一段とパワーアップしたことし生涯学習は、昨年実施した三つのプログラム（おらが村岩室ふるさと講座、むらおこしふるさと講座、村民一人一スポーツ事業）の継続実施はもちろんですが、さらにみなさんから親しみやすく、楽しみながら学習のできる場をたくさん用意しました。この機会に、ぜひ一度みなさんも参加してみたいかがですか。きっと生活に潤いが生まれ、張りのある日常生活を送ることができそうです。

とくに、ことしは新規メニューもたくさん計画されています。その中のいくつかを簡単に紹介しましょう。

たとえば、村民一人一スポーツ事業では、ことし「村民オールスター24時間ソ



フトボール大会」と銘打って、誰でも参加できるソフトボール大会を開催します。ぜひ、ご家族そろって参加し、気持ちいい汗を流しませんか。それにちよつと変わったもので「ニュータウンセミナー」を開催します。これは最近、親子離れや地区離れなどが進むなか、地域と家庭教育などのあり方について考え直し、そして、村や地区への愛着を深めてもらおうと計画した講座で、最近ではちよつと辛口な講座です。たまにこんな講座もいかがですか。このほかにも昨年好評だった枝豆栽培やことしは新たにカボチャ栽培も加え楽しさ満杯。それに「婦人軽スポーツ教室」など楽しいイベントが目白押しです。

気軽にご利用ください 学習の場にスポーツに

公民館では、みなさんの学習やスポーツ活動を応援するため公民館施設の開放を行っています。それに、ことしからはより一層利用しやすく、また、利用者のニーズに応えるため視聴覚機器（大型テレビ、ビデオなど）を新しく導入します。公民館施設は村民みなさんの施設です。学習の場として、またスポーツ活動の拠点として気軽にご利用ください。

高齢者と園児との楽しい交流体験！

また、「むらおこしふるさと講座」では、異世代間の交流を図ってもらおうと「甚句えだまめ」の栽培講座が行われました。この講座は、広報でも何回かご紹介したことがありますが、保育園児とお年寄りたちのえだまめ作りを通しての楽しい触れ合い交流が行われ、参加者たちは大喜びでした。また、昨年、惜しくも参加できなかった人々からは「ことし

飽食の時代に カボチャで村おこし

かぼちゃは、各年代層にとってそれぞれのイメージある野菜です。憎めない形をしているかぼちゃ。今、健康食品として、かぼちゃレストランも急増中で輸入もされているほどです。そんなかぼちゃを、減反作物として農協がとらえ、ことしは老人クラブの人たちと保育園児とが協力し、ふれあい交流をかねて植え付けから収穫までに挑戦します。

このかぼちゃのツルは、どんどん伸びて広がり田を覆います。しかし、広がったツルをたくってあげれば、みんな一本の根と連なっています。この一本の根を大切にできるとすばらしいかぼちゃを結実させることと思えます。そして、ツルのようにみんなの手をつなぎ、ふれあいの中から明日を担う園児にいろいろなことが伝えられることでしょうか。収穫したら、パンキンケーキ、かぼちゃ酒など、それぞれの年代の好みに合ったかぼちゃ料理教室なんかもお母さん方と開いてみたいですね。



岩室村公民館長
山田豊昭